

# 富山県内の道路整備箇所及び状況

2019年3月策定  
2023年8月改定  
富 山 県

# 富山県内の道路整備箇所及び状況

## ■基本方針

環日本海・アジア新時代に向けた陸・海・空の交通基盤等の強化

## 高速道路、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークの整備

### 政策目標

政策の目指すべき成果

高速道路から身近な生活道路に至るまで、安全で快適な道路ネットワークが形成され、人、モノの交流が活発になっていること。



### 現状と課題

- 東海北陸自動車道や北陸自動車道等の追加ＩＣ（スマートＩＣ（※１）等）の設置により、高速道路の利便性向上が図られてきています。また、東海北陸自動車道については、白鳥ＩＣから飛騨清見ＩＣ間の４車線化事業が2018（H30）年度までの開通を目標に進められているほか、飛騨清見ＩＣ～小矢部砺波ＪＣＴ間の県内区間のうち、10kmについて、2016（H28）年８月に付加車線（※２）の設置が決定されました。

今後、東海北陸自動車道の付加車線の速やかな設置や早期全線４車線化、能越自動車道の利便性の向上と早期全線開通、追加ＩＣの設置等による利便性の向上を図ることが重要です。

近年の追加ＩＣ供用箇所

- ・東海北陸自動車道 2015（H27）年３月 南砺スマートＩＣ供用開始
- ・北陸自動車道 2015（H27）年３月 高岡砺波スマートＩＣ供用開始
- ・能越自動車道 2016（H28）年３月 氷見南ＩＣ供用開始

- 道路は本県の産業経済活動を支えるとともに、県民の日常生活を支える重要な社会資本であることから、県内道路ネットワークの骨格を形成する幹線道路から通学路等の生活に密着した道路に至るまでの体系的な道路整備を進めています。また、北陸新幹線の開業効果を持続・深化させ地方創生を進めるため、新幹線駅・港湾等の交通・物流拠点や主要観光地へのアクセス道路の整備にも取り組んでいます。

引き続き、幹線道路から身近な生活道路に至るまで、すべての利用者にとって安全で快適な道路ネットワークの形成を図るとともに、将来の富山県の飛躍につながるような道路整備についても検討を行う必要があります。

- 高度経済成長期を中心に整備され老朽化が進む橋梁等の長寿命化対策を推進するとともに、橋梁の耐震化や落石・崩壊等に対する防災施設の整備など地震や豪雨・豪雪等の災害に強い道路の整備を進めています。

引き続き、災害に強い道路ネットワークの形成、ライフサイクルコストの縮減を考慮した道路施設の整備を進める必要があります。

（※１）**スマートＩＣ** 高速道路の本線やサービスエリア等から乗り降りができるように設置されるＩＣ。通行可能な車両をＥＴＣ搭載車両に限定している。従来のＩＣに比べて低コストで導入できるなどのメリットがある。

（※２）**付加車線** 追越しのための車線。



## 取組みの 基本方向

- 東海北陸自動車道や能越自動車道等の高速道路や、富山高山連絡道路をはじめとした地域高規格道路等による広域的な道路ネットワークの整備を促進するとともに、追加ＩＣの設置等による利便性の向上を図ります。
- 国道８号などの市町村間の連絡を強化する幹線道路や新幹線駅・港湾等の交通・物流拠点や主要観光地へのアクセス道路等について、選択と集中による計画的かつ体系的な整備を推進します。また、身近な生活道路等の既存道路について、歩行者や自動車等が安全で使いやすい道路となるように整備を推進します。さらに、将来の富山県の飛躍につながるような道路整備について検討を行います。
- 既存道路施設における、計画的かつ予防保全的な維持管理による橋梁の長寿命化や、橋梁の耐震化、落石・崩壊等に対する防災施設の充実等による災害に強い道路の整備を推進します。

## 主な施策

# 1

### 高速道路ネットワーク等の整備と活用

- 東海北陸自動車道の付加車線の速やかな設置及び全線４車線化や、能越自動車道の利便性向上と早期全線開通
- 富山高山連絡道路や高岡環状道路等の地域高規格道路の整備
- 上市スマートＩＣ（仮称）や城端ＳＡスマートＩＣ（仮称）等の追加ＩＣの設置

# 2

### 地域の活力を育む幹線道路や身近な生活道路の整備

- 新幹線駅・港湾、主要観光地へのアクセス道路の整備
- 沿岸部の観光拠点等を結ぶ湾岸道路の整備
- 幹線道路の渋滞対策や事故の多い交差点等の安全対策
- 通学路等における安全な歩行空間・自転車走行空間の確保や歩道のバリアフリー化の推進
- 観光客など県外・国外からの来訪者に親切で分かりやすい案内標識の充実
- 北アルプス横断道路構想についての中長期的な視点に立った課題整理及び関係者等との連携・協力

# 3

### 既存道路施設の長寿命化や災害に強い道路ネットワークの形成

- 橋梁の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減及び修繕・更新費用の平準化
- 地震発生時に救援物資の輸送を担う緊急通行確保路線等にある橋梁の耐震化
- 落石・崩壊等に対する道路施設の防災対策の推進
- 地震・豪雨等による災害発生時における道路情報の充実